

令和3年度第5回成田市リサイクルプラザ運営委員会 会議録

1 開催日時

令和4年3月11日（金） 午前10時～11時45分

2 開催場所

成田市小泉344番地1

成田市リサイクルプラザ 2階 活動室

3 出席者

（委員）片岡委員長、長尾副委員長、竹内委員、伊地知委員、関根委員、稲阪委員、
篠原委員、太田委員、大石委員、

（事務局：クリーン推進課）八代主幹、大野主査、麻生課員

欠席者 福原委員

4 議題

- (1) 消費生活展の結果報告について
- (2) 令和4年度事業計画（案）について
- (3) その他

5 議事（要旨）

(1) 消費生活展の結果報告について

委員長 それでは、まず、議題（1）の消費生活展の結果報告について、事務局からお願いいたします。

事務局 スタンプラリーのアンケートを集計した資料をお手元に配付しております。後でじっくりと目を通していただければと思います。当初は、募金をいただいた方に壊れた傘から作ったエコバッグを配布する予定でしたが、スタンプラリーのクイズに回答していただいた方への頒布品が無いとため、委員長と話をした結果、エコバッグを午前50枚、午後50枚、2日間で200枚を配る予定で準備をしました。しかし、想定以上に来場者が多く、不足してしまっただけのため、1日目に2日目の分も前倒して配りました。もう少し全体の枚数が多くても良かったのかなと思いました。

委員長 参加して良かったというのが感想です。時間がない中、制約のある中で、委員会を開かずに、私と事務局とで決めさせていただき、やらせていただきました。充分に対応できたかどうかはわかりませんが、皆様感想をお持ちだと思いますので、一言ずつ、いただきたいと思っております。

副委員長 クイズを行い、エコバッグを渡しました。そのクイズが難しかったのですが、お客様は理解していたので、こんなにも関心がある人がたくさんいるんだなと思ったのが感想です。お客様もコロナ禍の中でもたくさん来ていただいて、あっという間にエコバッグが無くなってしまいました。多くの人に来ていただいて、やって良かったと思いました。

委員 2日目の午後だったのですが、コロナ禍の中、こんなに来ていただけたらと思っていなかったため、実施して良かったと思っております。2日目の午後だったので、残ったエコバッグが黒色しか無かったので、カラフルなものを1個か2個でもストック

していただけたらと思えました。景品が何も無い状態になってしまい、少なかつたかなというのが残念ですが、盛大で良かったと思えます。やって良かったと思えます。

委員 初めて参加しました。お客様も途切れることなく、雰囲気がありました。エコバックは、傘からの作り方を掲示して、これは傘で作りましたということをしてPRした方が良かったかなと思えました。その方がよく見てもらえたかなと思えました。

委員 参加した時にエコバックの在庫が無くなって、もっとあったほうが良かったと思えました。次回あるとするならば、もう少し数が必要かなと思えました。

委員 私は、日曜日の午前中でしたけれども、午後の分も使ってしまったて申し訳なかったと思えます。ただ、11時の時には黒色以外は無い状態でした。何しろ10時半くらいまでで午後の分を入れないと足りない状態でした。1家族につき1袋ということで配ったのですが、行列が出て、10時半以降は黒色しか残っていませんでした。中には男性で黒色が欲しいという人も何人かはいましたけれど、一般的には黒色の評判があまり良くなかったです。もう少し数が欲しかったということと、来年からは最初から1家族1袋として、もし袋を出すのであれば、数は増やした方が良くと思えます。

委員 私も皆さんと同じ意見ですが、来年もエコバッグを頒布品として出せるかどうか分からないので、それは考えなければならぬと思えます。SDGsって何って聞かれたら私は答えられないので、よく勉強しなければならぬなとつくづく思いました。

副委員長 私も土曜日の午後から参加しましたが、前回は配るものもなく、折り紙を折って配っていたのですが、1家族で2枚欲しいと言われることもあって、これをしてしまうと、すぐに足りなくなってしまう。頒布品については、来年は、同じものがよいか、増やせるものがよいか検討した方が良くと思えます。

委員長 今回はフリーマーケットが2回中止となり、エコバッグの在庫がけっこう溜まっていたということがあり、事務局と話をして200枚あればいいよねって決めたんですけども、結果的に全ての人には配ることができなくて、在庫に余裕があればよいのですが、それもなくて、でも、お渡しした人は喜んでいただいていたというのが実情です。委員会でも啓発活動をしなければならぬので、リサイクルプラザの中で何が出来るかということで、そういう面では良かったのですが、なかなか全ての人に渡すことが出来るかってことは、これからも続くかと思えますので、その点を考えながら次回は選んでいただいて、たまたまエコバッグがあったので、できたのですが、次回が出来るかどうかは分かりません。いずれにしても皆様にご苦労かけた分だけは効果があったのかなと思えます。本当にありがとうございました。また、勉強していただきながら、このリサイクルプラザの中で出来ることを皆さんと一緒にやっていただけたらなと思えます。このコロナ禍の中での状況ですので、そのなかで、よくできたなと思えます。忙しい中、ありがとうございます。次回は始まる前に委員会を開いて、出来ることをやれたらなと思えます。

副委員長 産業まつりは寄付をいただいた方に対して頒布品を配付しているけれども、消費生活展では無料で配布しているのもおかしくはないですか。

委員長 消費生活展の説明会によると、金銭のやり取りは難しいという、ニュアンスでした。産業まつりでは、各ブースで、お店を開いていて、来場される方は何かを買うことを目当てにして来ますので、金銭のやり取りについて、そんなに違和感はないのですが、消費生活展の中では、少し違和感があるのかなというのがあります。その辺の違いではあります。ただ、利益ではなく、社会福祉協議会への寄付であることを明記してあれば、できないこともないと思いますので、次回は一貫して考えるのであれば、産業まつりも寄付をいただいているのであるから、消費生活展でも寄付をいただくというのも一つの考え方かなと思います。

(2) 令和4年度事業計画(案)について

委員長 次に、議題(2)令和4年度事業計画(案)について、皆さんのお手元にあるように入れてございます。確認のために私が一度読み上げます。まずは、第1回目の運営委員会を4月の22日に行います。これは何の為かというのと、約1か月後に、もし、事業計画の変更案が出ましたら、この時に、また、視察を含めて、どういう状況かというのを、この委員会の中で決めていきたいと思います。フリーマーケットが予定では5月22日の日曜日ですが、広報掲載の問題と小泉管理組合さんの準備の問題等がありまして、開催の可否の決定について時間の締め切りがあります。現状では、残念ながら、コロナをまだ見過ごせない状況であり、感染者数が大幅には下がってこない。このままだと、また、4月の終わりから5月にまた上ってくるのではないかという危惧がございます。本日、開催の可否を決めさせていただきたいと思います。

委員長 第2回の運営委員会ということで、6月の10日。これは、リサイクル教室、消費生活展で配付したエコバッグづくりです。これもせっかくリサイクル教室をやるのですから、もう一度皆さんと一緒にいつもご寄付をいただいているだけではなくて、我々の中でも何か波及できるようにやっていきたいと思います。あと、予定では、2年に1回の視察ということで、7月に入れてありますが、未定でございますので、次回の4月22日の委員会あたりまでにはほぼ決めていきたいなど、最終的には6月10日の委員会に視察の件も入れて決定したいと考えています。あと、親子でリサイクル教室ということで、7月、8月の夏休み期間を利用して、親子で草履づくり、初めて子供の草履づくりに挑戦します。大人の草履づくりはやっていましたけど、子供の草履づくりは初めてなので、これもまた考えながら工夫してやりたいと思います。親子でももちろん作りますので。8月に親子でハガキと小物入れづくり。これもずっと続けていますので、行いたいなと思います。秋のフリーマーケットに向けて9月2日に運営委員会を開きたいと思います。その前に状況を見ながら判断していかなくてははいけません。よろしくお願いします。コロナがある程度収束していれば、これで開催できると思います。10月に入りまして、着物からの作務衣づくり、これも好評ですので、このまま入れていきますので、よろしくお願いします。産業まつりの前の10月21日が運営委員会。そして、産業まつり、消費生活展。この産業まつり、消費生活展に向けて我々もいろいろ準備していかなくてはいけないので、続けていきたいと思います。最後に、布草履づくり

で、例年通り 2 月 10 日に行いたいと思います。そして、年度末の委員会ということで、3 月 10 日です。以上、案として提出されておりますので、この中でご意見、変更、ご希望がありましたら、挙手をお願いします。

副委員長 消費生活展の前にも運営委員会を開いてほしいなと思います。

事務局 予算としては、年度内 5 回開催分までしかとっていません。

委員長 市から皆さんに謝礼をお支払いできる運営委員会としては、あくまでも 5 回。あとは、任意の委員会となってしまいますが、それでもよければ、集まっていたいでやるということも可能です。あくまでも、任意の委員会ですが。

副委員長 予算って言いますけれども、リサイクル教室の先生を依頼して開催する教室が、以前は 2 回あったのですが、今回は 1 回に減ったりして、その予算が余っていると思うのですが。

事務局 講師謝礼と運営委員謝礼は別の枠になっています。

副委員長 別の枠になっていると、講師を 2 人依頼するところを 1 人しか依頼しなかった場合は、1 人分は返納するってことになるのですか。こちらで必要だと考えているのですが、それは認められないということですか。

事務局 予算要求するときに財政課と使用目的について協議をしているので、別の目的で使うことはできないのです。

委員長 そのための事業計画案であって、運営委員会も 5 回の中の人分しか見ていないということですよ。

事務局 そうです。

委員長 それ以外であれば、別の項目での運営委員会での出費はできないということですよ。我々はボランティアなので、運営委員会よりもリサイクル教室の方が労力としては大変で、その部分は無料でボランティアとしてやっていますので、その辺は兼ね合いで、事業計画が決まってしまうと、それでやるしかないし、運営委員会の回数は、あくまでも、この 20 年間 5 回以内でやっていますので、それ以外の運営委員会の出費は認められないと思います。

副委員長 予算要求をする時に、もし、運営委員会を 6 回にしてほしいという要望を出したら通る可能性はあるのですか。

事務局 前年度実績で査定されているため厳しいです。また、特に、現在、コロナ禍における様々な支援策など、新たな事業が各課で行われており、非常に厳しいと言わざるを得ません。

委員 私は、委員の採用面接の時に、ボランティアと聞いていました。だから、5 回の会議だけで、後はボランティアと聞いていたので違和感は無かったです。ただ、講師を招いてやる以外に、ごみを減らす運動として毎月 1 回、糸とかミシンに関わる講座で親しんでもらえたら運営委員のレベルアップにもなるんじゃないかと思います。予算がもらえないのもわかるけども、委員の中に若い人も入れていただけたら活性化されるのではないかなと思います。将来的には、1 回でも講座を増やしてもらいたい。そして、若い人に参加してもらうには、手当など見返りを増やさないと、なかなか参加してもらえないということが 4 年いて思うので、少し出してもらえないかと思います。

- 委員長 運営員会の回数を増やすということなのですが、設置要綱の中でのやり方で言えば、少ないお金をいただきながら大きなものを生み出していかなければならないって部分で、任意で委員会を増やしていかなければならないのかなと思います。正式に運営委員会の回数を増やすことはできないと思います。早め、早めに声を上げて消費生活展に向けて頑張りますからと要望していただくことはできますか。
- 事務局 要求することはできますが、通すことは難しいと思います。
- 委員長 委員の意見をまとめるのにそれ位の落としどころしかないので、来年に向けて、消費生活展を行うために委員会を増やしてほしいという意見がありましたということに留めたいと思います。
- 委員長 他に予定の中で啓発事業は、親子で草履づくりとかありますけども、更にここで案を決定したいので、更なるご意見等がありましたらお願いします。
- 委員 日程ですが、リサイクル教室が10月18日、第4回運営委員会が21日で、間隔が短いため、次の週に延ばせたらなと思います。
- 委員長 それでは、第4回目運営委員会を28日の金曜日にするということはどうですか。
- 委員 その時に、産業まつりと消費生活展の話をするということで。
- 委員長 大まかな話はできるので、1回でまとめて後は個々に連絡を取りながらやっていくしかないと思います。
- 委員長 前半は第1回と第2回の運営委員会で、親子教室までの話を決めていただく。そして、9月2日の第3回運営委員会までには、後半の部分、秋のフリーマーケットができるかどうか決まっていると思います。それから、作務衣、産業まつり、消費生活展について、10月28日も運営委員会がありますので、こういった形で詰めていきたいと思います。できればこれで決定をしていただいて、次年度の事業計画として合意が取れば行いたいと思います。いかがですか。大体皆さんうなずいていますので、これで事業計画決定とします。
- 事務局 5月のフリーマーケットは中止ということよろしいですか。
- 委員長 残念ですが、春のフリーマーケットは中止をお願いします。
- 委員 予定が半日の運営委員会の午前か午後に、学習会を予定してはどうですか。その方が、参加しやすいのではないかなと思います。
- 委員長 何も無いときに出てくるよりは、用が無ければ出ていただくようなことで、私は良い意見だなと思います。皆さん、いろいろ意見があると思います。検討するには充分だと思います。次回4月22日も運営委員会が午前中となっていますので、この日も時間のある方は、午後も残ってエコバッグづくりに向けて1,2時間でもミシンを動かすというのはどうでしょうか。この部屋は使えますよね。当日、声はかけますけど。使わせてください。
- 事務局 大丈夫です。
- 委員長 これについては、あくまでも学習会ということで、強制ではございませんのでご参加をよろしくをお願いします。これは、補足で計画案とは別で確認事項としてお願いします。そのほか、事業計画案について、何かご意見等がありますか。

委員 親子教室について、幼いお子さんを何人か連れてくる親御さんがいますが、目を離すと危険であり、もし、怪我をした場合、責任問題となってしまいます。怪我をした場合の保険には加入しているのですか。

委員長 保険には加入していないので、どうしても自己責任ということになってしまいます。そのへんを理解していただいた上での参加ということになります。

委員 広報では書きづらいかと思しますので、電話での申し込みがあった際に、こういう危険があるから、できれば小学生以上にしてくださいというように伝えてほしいです。

事務局 承知しました。

委員長 あとは、視察の話になると思いますけど、予定ではどこでしたか。

事務局 予算上は柏です。前回の運営委員会で、柏のプラネットが有力ということでした。

委員長 県外は難しいでしょう。

事務局 今はコロナの関係で、視察の受け入れについては、県内でも相手先次第の状況です。

副委員長 柏プラネットのほうは、視察の受け入れは可能なのですか。

委員長 前回の運営委員会の前、10月に一度打診をしてあり、そのときは、感染状況が下がっていた時期でもあり、受け入れは可能という回答でした。年度が替わって4月に入ってから再度、確認して、次回の運営委員会までには受け入れができるかどうかの話位はできると思います。しかし、実際に視察に行く7月になり、そのときの状況により、どうなるかわかりません。視察に関しては、今後、事務局において調整してまいります。

(3) その他

委員長 委員が1名、3月末をもって、任期途中ではありますが、退任されることとなりましたので報告します。

6 傍聴 0名

7 次回開催日時(予定)

令和4年4月22日(金)